

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	本邦における婦人科悪性腫瘍合併妊娠の調査
	研究目的	本邦における子宮頸癌および卵巣癌合併妊娠の発生頻度・治療方法・その予後を調査し、悪性腫瘍とその治療が妊娠・分娩・産褥にどのように影響したかを検討します。さらに、新生児の予後についても検討します。本研究は、本邦の周産期母子医療センターならびにがん診療連携拠点病院にて診断または治療された患者の情報を日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会が中心となって集め、解析します。
	研究対象者	2012年1月から2019年12月に当院で妊娠中に子宮頸癌または卵巣癌と診断され、入院または通院し、診療を受けた方
	研究期間	西暦 2019年10月17日 ~ 西暦 2024年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	小澤雅代 / 加藤久盛
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	婦人科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	三重大学医学部産科婦人科学教室 池田智明